

ゲーム環境の整備

～ 2014 年以降の「U-13 リーグ」の実施について～

➤ はじめに

🚩 リーグ整備の主旨

選手が自らの力でたくましく育っていく環境を整備するため、多くのプレーヤーが、それぞれの年代別に応じた環境で、年間を通じてプレー機会が提供されるよう、「Players First」を念頭におき競技の整備に努める。

🚩 年代別トップリーグの構成エリア

トップリーグの構成エリアは、移動可能な範囲や生活圏を勘案し年代毎に異なる。

U-18 : 全国(リーグ)

U-15 : 地域(リーグ)

U-13 : 地域(リーグ)を最大としたエリア(各地域の実情にあわせた判断に委ねる)

U-12 : 都道府県(リーグ)

🚩 なぜ U-13 リーグが必要か？

U-15 と U-13 年代では、身体の成長において U-15 と U-14 は同じカテゴリでゲームを行っても支障がないが、U-13 は成長の個人差も大きく、U-15 リーグで闘える選手が多くない状況にある。従って U-15 ～13(中学)年代のリーグは、U-15 と U-13 の 2 カテゴリ を設け選手に活動環境を提供する。

U-14 年代で力量のある選手は、積極的に U-15 年代に入りゲームを行うことが望ましいと考える。

U-15 リーグでは 2 チーム以上の編成が可能な場合は、学年で分けるのではなく選手の能力別でチームを編成するよう推進に努める。

➤ U-13 リーグ ・ これまで

🚩 2007 年 Jリーグ U-13 が JFA と Jリーグの主催(共催)として実施

Jクラブと一部のタウンクラブで実施した。

🚩 2008 年 Jリーグ U-13 をオープン化

Jリーグの JFA と協調し地域貢献をはかるという判断のもと、3 種登録している他のチームの参加も可能とした。参加条件を満たした参入希望チームを全て受入れて実施した。

🚩 2009～2012 年 各地域での検討・整備

Jリーグ U-13 はポラリス(北海道・東北・北信越)、メトロポリタン(関東)、ボルケーノ(東海)、ヤマトタケル(関西)、サザンクロス(中国・四国・九州)の 5 つのエリアで実施した。

一方、複数地域での実施は広範囲であると考え、9 地域でのリーグ実施の検討を開始。年代に合わせた移動範囲を考慮、地域単位ではなく県単位のみとするかの考察が繰り返された。

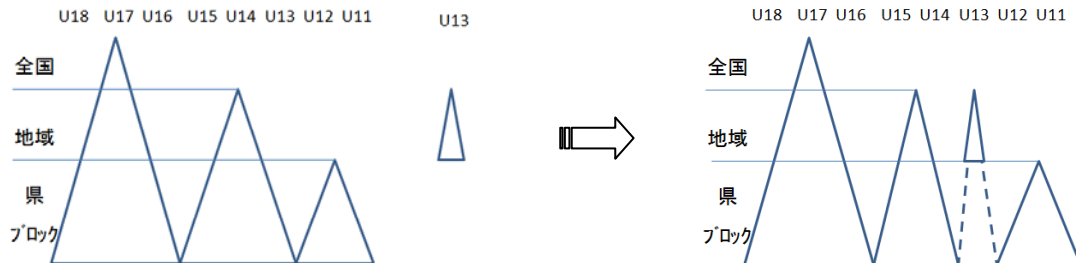
現時点では、全 9 地域での開催を決定。併せて地域と都道府県との間で昇降格ができるよう FA リーグの整備も並行して進められている。

➤ U-13リーグ・今後

🚩 U-13リーグの整備について

ゲーム環境、リーグ整備の主旨等を踏まえ、U-18～12年代の年間リーグの整備に不らい整備をすすめていく。但し、他のカテゴリーに比べ引率指導者やグラウンド確保の問題、他のカテゴリーよりも整備開始が遅かったことを鑑み、整備要件等緩やかに対応する。

～ イメージ ～



🚩 運営管理について

本リーグの運営はこれまでJリーグが主体的におこなってきた。当初のリーグ構成から比べると、年ごとに参加チームが増加、地域リーグ整備にあわせて県リーグとの昇降格も行われることとなり、大きく様変わりしてきた。Jクラブを対象としたリーグ運営から登録チームを対象としたリーグ運営に変わってきたことから、2014年より運営管理主体をJリーグからJFAに移管したうえで、財政補助はJFA M8:U-15地域リーグ支援制度に盛り込む。日程調整はじめ試合運営等は各地域3種委員会を中心に管理運営する。

～参考 / 参加チーム数と試合数～

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
参加チーム数	47	112	145	117	122	120	140
総試合数	318	814	1039	882	892	858	1116

🚩 地域間に生じる整備状況の格差について

各地域における、交通利便性、登録チーム数、学校チームの課題（遠征の許可や帯同顧問の有無）や複数地域をまとめ広域でリーグを開催していた経緯等の事情により、現在の各地域におけるリーグ整備状況は様々である。

U-13リーグの整備については、“試合ができること”を最優先に考え、試合の実施と並行しながら、地域内で検討し、リーグ整備を進める。

開催形式について

	2013 年	2014 年	2015 年
北海道	U-15 リーグと抱合開催 1・2 部各 8 チーム 2 回戦	同左	同左
東北	南北各 10 チーム 2 回戦	公募: 南北各 8~10 チーム 2 回戦 チャンピオンシップ開催	公募: 南北各 8~10 チーム 2 回戦 チャンピオンシップ開催 FA リーグとの昇降格
関東	1・2 部各 8 チーム×2 ブロック 2 回戦 FA リーグとの自動昇降格	同左	同左
北信越	8 チーム 2 回戦	同左	同左
東海	整備のため実施なし ※Jクラブのみ 5 チームで実施	8 チーム 1 回戦 FA リーグとの昇降格あり	検討中
関西	16 チーム 1 回戦 FA リーグとの自動昇降格	同左	同左
中国	10 チーム×2 ブロック 2 回戦	10 チーム×2 ブロック 2 回戦 FA リーグとの昇降格調整中	10 チーム 1 ブロック 2 回戦
四国	前期: 8 チーム×2 ブロック 1 回戦 後期: 1・2 部各 8 チーム 1 回戦	10 チーム 2 回戦	同左
九州	U-15 地域リーグと抱合 開催 九州 12 チーム 2 回戦	U-15 地域リーグと抱合 開催 九州 12 チーム 2 回戦 沖縄 8 チーム 2 回戦	同左

補助金について

育成年代全体のリーグ整備の一環として扱うことを勘案、これまでの補助基準を見直し、既存の U-15 リーグ制度に盛り込むことで対応する。

✓ 現行

対象：参加チーム

補助内容：旅費の補助(※)・審判費・担架と横断幕の貸与・表彰の記念品

※旅費補助条件 片道 100km 以上の場合 / 1 チームあたり上限 8 万円

片道 300km 以上でかつ陸路での移動が困難な場合 / 片道分

✓ 今後(案) 現行の M8 U-15 地域リーグ支援制度に準じた内容に変更し同制度に加え対応する。

対象：地域 FA

補助内容：1 地域あたり 1,000 千円 但し、試合数が 100 試合未満の場合は試合数×10 千円
M8: U-15 地域リーグ 2,000 千円と包括支給とし、分配比率は地域 FA 判断とする。